



戸田ヶ原 レポート

6月から8月の戸田ヶ原の様子や活動を報告します



戸田ヶ原サクラソウ園のイヌヌマトラノオとクサフジ（6月）

戸田ヶ原サクラソウ園

園路に張り出したオギの管理（オギしばり）やトンボなどのために池の水面を出すガマ刈り、野草の生育を妨げる外来植物の抜き取りなどを行いました。



散歩をしやすくするためのオギしばり



池の水面を出すためのガマ刈り



外来植物などの抜き取り

戸田ヶ原野草園

目標とする野草の生育を妨げる外来植物の抜き取りなどを行いました。6月には、約半年ぶりに「戸田ヶ原サポーター」の皆さんに管理に参加していただきました。



戸田ヶ原サポーターの皆さんと一緒に



大きな群落になっているハンゲシヨウ

今年の夏は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、市民や戸田ヶ原サポーターのみなさんに参加していただく機会が限られてしまいました。また、急なイベントの中止などでご迷惑をおかけしました。管理への参加を予定、準備していただいていた皆さんにお礼とお詫びを申し上げます。戸田ヶ原の自然は、市民や戸田ヶ原サポーター、戸田ヶ原ガイドの皆さんに支えられています。先の見通せない中ですが、これからもよろしくお願いします。



戸田ヶ原をより深く知っていただくために、昔の様子を紹介します。

110年前の遠足

明治維新後、鉄道の開通によって荒川までの交通の便が良くなり、多くの人が戸田ヶ原を訪れました。当時の新聞記事からその様子を見てみましょう。



国民新聞 埼玉版 明治42年4月25日

東京芝三田四国町の私立東京高等女学校生徒約四百五十名は校長以下の職員に引率せられ十四日、埼玉県荒川沿岸戸田ヶ原の桜草狩りに来遊せり。一行の式部連は当日八時十分上野発列車にて九時蕨駅に下車し、整列して同町より中仙道を板橋方面の戸田村に着し、同村の豪農の令嬢が同校在学中の縁故により同家に休憩し、茶菓を受け戸田原浮間の荒野一面に咲き揃える桜草狩りに終日の興をつくして、午後荒川堤上より川口善光寺に参詣し、荒川を渡りて岩淵町に出で五時三十分赤羽駅発上り列車にて帰郷せり。

※一部個人名を省略しています。

イベントの予定

イオンモール北戸田店で、「戸田ヶ原自然再生と生物多様性」をテーマとして、10月2日(土)にワークショップイベント、10月3日(日)にステージイベント(ともに親子向け)を行う予定です。時間等の詳細が決まりましたら、戸田ヶ原自然再生ブログなどでお知らせします。

戸田ヶ原サポーターの活動予定(9月)

戸田ヶ原サクラソウ園

9月21日(火) 9時~11時頃

内容: 外来植物の抜き取り、園路沿いのオギの管理など

戸田ヶ原野草園

9月28日(火) 9時~11時頃

内容: 野草まわりの草刈り

■参加希望・お問い合わせは(公財)戸田市水と緑の公社まで
新型コロナウイルス感染症の状況や天候により、中止・日程変更になる場合があります。



戸田ヶ原生きもの通信

ワレモコウ

見ごろです!

長く伸びた枝先に赤紫色の小さな花の集まりをつけるワレモコウは、その形と色から草原の中でよく目立ちます。生け花やドライフラワーに使われる素敵な野草ですが、野生では目にするのが少なくなってきました。大事に見守って下さい。8~10月に見ることができます。



探してみよう

ショウリョウバッタモドキ

ショウリョウバッタ

戸田ヶ原サクラソウ園の調査でショウリョウバッタモドキを見つけました。よく見られるショウリョウバッタより頭の長さが短く、折り曲げても収まりきらないほどの長い脚があります。



ショウリョウバッタモドキ

ショウリョウバッタモドキは、オギ、チガヤ、ススキなどが生育する限られた良好な草地環境にのみ生息しています。そのため、埼玉県では希少種(埼玉県レッドデータブック:準絶滅危惧)に位置付けられています。晩夏から秋に見ることができます。

戸田ヶ原野草園近くでもニホンアカガエルを確認!

前号で「ニホンアカガエルを戸田ヶ原サクラソウ園で初めて確認」と報告しましたが、6月に戸田ヶ原野草園の近くでも確認したとの情報が寄せられました。貴重な情報をありがとうございました。



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、彩湖・道満グリーンパークに来園の際は体調管理、マスクの着用、手洗い、ソーシャルディスタンス(2m)にご協力ください。

JR埼京線またはJR武蔵野線
武蔵浦和駅より「下巻目 行」バス乗車
「彩湖・道満グリーンパーク入口」
下車徒歩13分

JR埼京線 北戸田駅より
tocoバス美笹循環乗車
「道満」下車徒歩12分



戸田ヶ原自然再生キャラクター
とだみちゃん

